

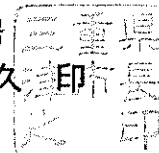
津市こ第982号  
平成20年3月31日

支出負担行為担当官  
総務省大臣官房会計課企画官 殿

(受託者)

津市西丸之内23番1号

津市長 松田直久



平成19年度 地域ICT利活用モデル構築事業 成果報告書

平成19年8月27日付け契約の平成 年度地域ICT利活用モデル構築事業について、下記のとおり事業を実施したので、委託契約書第13条の規定に基づき、別添のとおり報告します。

## 成果報告書

実施 市区町村 名	津市
代表市区 町 村長名	津市長 松田直久
事業名称	ICT を活用した子育て支援モデル
契約額	43,909,919円
事業実施 概要	<p>本地域に整備され、普及した ICT を活用して、市町村合併により拡大した市域における子育て支援サービスの地域間格差の解消、行政サービスや公のサービスに対する需要の分野拡大への対応等を図るため、子育て支援システム運営推進協議会（以下「協議会」という。）を立ち上げ、子育て支援システムとして以下の3つのシステム構築しました。</p> <p><b>I システム</b></p> <p>1 <u>子育て支援システム（準拠情報システム）</u></p> <p>本市の子育て支援に関する情報を提供するポータルサイト「子育てネット 元気っ津（げんきっず）」を開設。（平成20年3月14日から一般公開）</p> <p>本システムは、XML、SOAP や OSS の技術を活用し、機能やサービス単位での差換えや連携が実現できる「ICT基盤」により構成される「地域情報プラットフォーム」に準拠したシステムを用いた準拠情報システム（ブログサイト、インターネット放送局及び保護者や児童への子育て情報や子ども文化の紹介コンテンツの提供等を行う地域SNSの機能を有する統合システムである。）を活用し、子育て家庭が地理的な制約を受けることなく、自宅や地域の保健センターにしながら、育児専門家及び支援者との情報共有や相談等ができるシステムとしました。</p> <p>開発したシステムは、民間企業のデータセンターへ機器等を設置し、サービスを提供しています。</p> <p>※ 当初計画では、子育て支援拠点ネットワークセンターは、機器を設置するデータセンターとその運用を図る組織を総称し、高田短期大学を核にして形成することとしていましたが、協議会で検討する中で、同大学以外の外部にデータセンターを置くこととしています。なお、現在、運営組織については、協議会において検討中です。</p> <p><b>【コンテンツ】</b></p> <p>(1) 子育て支援モデルポータルホームページ</p> <p>Xoops, Plone, Apache 等 OSS を活用し、以下のコンテンツを作成しました。</p> <p>①お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 登録機能、一覧表示・修正・削除機能・検閲（協議会委員等のうち、情報の提供等を担える委員・団体に権限を持っていただき、一定の管理ルールのもと、情報の提供を行っていただきます。）</li> <li>・ 現時点では、情報登録は進んでいませんが、今後、協議会において、具体的な管理ルールを早期に決め、多くの情報登録を行う必要があります。</li> </ul> <p>②こそだてストーリー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもの成長に応じたワンポイントアドバイスの掲載</li> </ul>

- ③子育て支援コーナー
    - ・ 行政機関等の子育て支援制度・情報を子どもの成長に応じて提供
  - ④つよいっこTVコーナー
    - ・ デジタル記録された子育て支援者、及び子育て中の保護者向けの子育て教室、講座などの動画コンテンツを、インターネットを介してストリーミング配信するVODシステム
      - ※平成20年3月末時点では、講座の収録・編集、サイトへアップするシステムの整備は完了していますが、コンテンツが未作成であり、作成次第アップする予定です。
  - ⑤イベント情報コーナー
    - ・ 登録機能、一覧表示・修正・削除機能・検閲（協議会委員等のうち、情報の提供等を担える委員・団体に権限を持っていただき、一定の管理ルールのもと、情報の提供を行っていただきます。）
    - ・ 現時点では、情報登録は進んでいませんが、今後、協議会において、具体的な管理ルールを早期に決め、多くの情報登録を行う必要があります。
  - ⑥いっしょにあそぼうコーナー
    - ・ インタラクティブ性のある幼児向けコンテンツ（幼児向けゲーム。著作権は津市に帰属する。）をJava等を用いて作成しました。
    - ・ 当初画面は、「らくがきしてあそぼ」3枚及び「パズルしてあそぼ」3枚としています。（現在、著作権フリーの写真を使っていますが、津市の写真、ローカルヒーロー等のイラストを次回更新時にアップする予定です。）
  - ⑦いっしょにおべんきょうコーナー
    - ・ インタラクティブ性のある紙芝居（「読み聞かせ動画紙芝居」著作権は津市に帰属する。）をJava等を用いて作成しました。
    - ・ 当初画面は、本市の民話「観音堂の絵馬」「大きな棕の木」を公開しており、順次、民話等の更新を行っていきます。
  - ⑨今週のランキングコーナー
    - ・ 登録機能、一覧表示・修正・削除機能・検閲（協議会委員等のうち、情報の提供等を担える委員・団体に権限を持っていただき、一定の管理ルールのもと、情報の提供を行っていただきます。）
    - ・ 未就園児の子育て支援広場でのアンケート等を基に、ランキング形式で子どもや保護者の興味のある情報を提供していきます。
  - ⑩忙しいママの簡単レシピ
    - ・ 子育て中の保護者の興味を引くページとしてレシピを公開。保育所・幼稚園の栄養士、地域の食改善活動団体等の協力を得て、順次公開をしていきます。
- (2) 子育て支援事業紹介ホームページ  
Xoops, Plone, Apache等OSSを活用しコンテンツを作成しました。「(1)子育て支援モデルポータルホームページ」と相互リンクを行っています。
- ①お知らせコーナー
    - ・ 登録機能、一覧表示・修正・削除機能・検閲（協議会委員等のうち、情報の提供等を担える委員・団体に権限を持っていただき、一定の管理ルールのもと、情報の提供を行っていただきます。）
    - ・ 現時点では、情報登録は進んでいませんが、今後、協議会において、具体的な管理ルールを早期に決め、多くの情報登録を行う必要があります。
  - ②津市地域ICT利活用モデル構築事業の紹介ページ
    - ・ 本事業の目的、概要、事業構成（内容）を紹介するページ作成しました。
  - ③リンクコーナー
    - ・ 子育て支援モデルポータルホームページ
    - ・ 協議会等参画団体・企業のホームページ
    - ・ 図書館、行政機関関連サイト
    - ※リンク承諾後、順次掲載を行っていきます。

### (3) ホームページ機能支援システム

「(1)子育て支援モデルポータルホームページ」に機能を組み込んでいます。

#### ①イベント広場

- 子育て支援全般に関わるイベント情報の案内、報告の発信と利用者が応募（参加）しやすい仕組みを備えたホームページ機能支援システムとして、以下の機能を有するサブシステムを開発しました。

ア イベント情報の登録、一覧、修正、削除、検閲（監修）

イ イベント情報をカテゴリー（分類）化

ウ 管理者の登録、修正、削除

エ イベントへの申込と応答メール及び管理者通知

オ イベント結果報告

- 現時点では、情報登録は進んでいませんが、今後、協議会において、具体的な管理ルールを早期に決め、多くの情報登録を行う必要があります。

#### ②ブログシステム

- 子育て家庭の保護者や支援者、ボランティア等が「子育て」に関わる体験や取組を日記としてつづることができるブログシステムとしました。

- 子育て支援関連団体等がそれぞれの団体のホームページを簡単に作成できるホームページ支援システム（デザインパターンのテンプレート機能を有する。）も備えました。

- 現時点では、情報登録は進んでいませんが、今後、協議会において、具体的な管理ルールを早期に決め、多くの情報登録を行う必要があります。

#### ③本紹介システム（SNS）「本の玉手箱」及びSNS連携システム

- OpenPNE（OSS）によりSNS構築を行いました。

- 絵本や文庫本、小説などのトピックやエッセンス等、本の紹介サイトとして、子育て家庭の育成者に使いやすく、就学前児や小学生が見ても楽しいSNSサイトとなる利用者の操作環境を重視したシステムとしました。

- 既存の地域SNS（OpenPNEにより構築。「みえじん <http://SNS.miezone.net/home/>）に登録した子育てサークル参加者等に情報転送、公開し、また、逆に、特定利用者から、この地域SNSに子育てイベント情報の紹介コンテンツを転送、公開する双方向サービスが提供できるシステムとするため、SNS連携サーバーの開発を行い、既存の地域SNS事業者と連携方策の検討を行っています。（平成20年3月末時点では、既存SNS「みえじん」の中の子育て関連コミュニティと「本の玉手箱」との連携ができていません。）

### ■事業成果

平成20年3月24日時点

- |                                   |   |
|-----------------------------------|---|
| ①子育て支援登録者数（団体、関係機関を含む）            | 26（目標値 200）                                 |
| ②SNSコミュニティ数                       | 2（目標値 10）                                   |
| ③本事業により新たな団体間の協働取組み件数             | 0（目標値 5）                                    |
| ④e-本みつけた（仮称）利用者数                  | 62（目標値 2）                                   |
| ⑤市内小中学校（小学校59校・中学校22校）図書館の図書の貸出冊数 | 349,897冊（H18年度実績 H19年度はH20.8公表／目標値 310,000） |

### 2 テレビ会議システム

市内10箇所の保健センターに50インチ型テレビモニター、カメラ等の機器を配置し、他地点をつないだ子育て教室（2歳児歯科教室）の開催、保健師のエリア会議の開催を行いました。

〈運用開始〉平成20年3月6日から

〈開催講座〉

	月日	対象	内容
開始セレモニー	3月6日	協議会委員長、市長、市保健師と各保健センター職員	運用開始セレモニーとして、3名を中心に運用開始にあたっての挨拶（10箇所を中継）
2歳児歯科教	3月6日	主会場は2歳児の親子	安濃保健センターで開催の2

室		と他 9 会場は関心のあ る親子約計 100 名	歳児歯科教室を他の 9 会場に 集まった親子に向け講話と 質疑を行う。
担当者エリ ア会議	3月10日	中央、河芸、香良洲の 保健師 11名	毎月実施のエリア毎の定例 会議を、移動せず効率よく行 う
担当者エリ ア会議	3月13日	安濃、芸濃、美里の保 健師 8名	毎月実施のエリア毎の定例 会議を、移動せず効率よく行 う

#### ■事業成果

子育て教室は、メイン会場の保健センターでなく、最寄の保健センターに行って参加できたので、参加者の評価は、概ね高評価でありました。

しかし、モニターを見て受講する教室のイメージが浸透しておらず、周知方法に課題を残しています。また、「ホワイトボードの文字等が肉眼よりも画面を通すと見えにくい。」「音声に反応して画面が切り替わるタイミングにズレがある。」など、技術的な欠点を補う運用面での工夫も課題であることが確認できました。

平成 19 年度の運用では、保健センターの子育て教室等に限られているため、子育て支援団体の会合や交流事業などの利用についても検証し、利用拡大策を検討していく必要があります。

### 3 テレビ電話システム

テレビ電話は、NTTの光回線を使ったテレビ電話及び skype を使ったインターネット電話を配備しました。

NTTの光回線を使ったテレビ電話 38 箇所（保育所、幼稚園及び園医等）

※ 当初計画 115 台（モニターとなる子育て家庭を公募（通話経費はモニター負担）。

インターネット電話（skype）115 基（保育所、幼稚園、市相談窓口等）

※ 当初計画 120 基（保育所・幼稚園等の支援窓口）

インターネット電話、情報管理・提供用パソコン 34 基

※ 当初計画 35 台（市相談窓口、子育て支援団体、大学等専門機関）

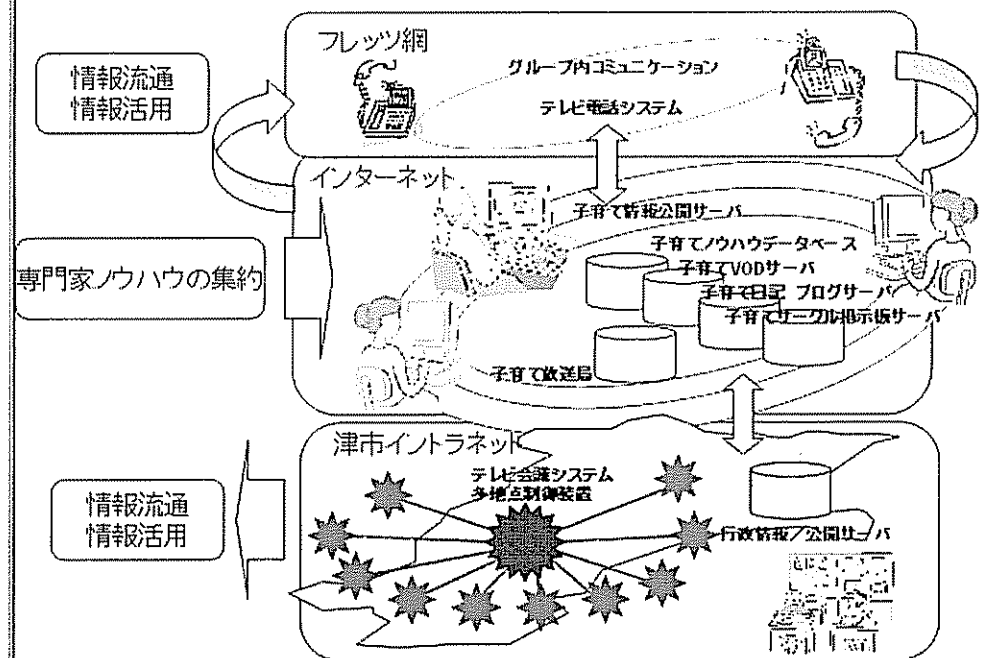
〈運用開始〉平成 20 年 3 月中に一部試験運用開始予定

#### ■事業成果

3 月 24 日時点において、平成 19 年度に配備を予定した施設への配備及び設定が整っていないため、相談業務等での試験運用が図られていない状況です。

しかし、機器の接続工事において、画像、音声の十分な動作環境を確保する光回線を使ったテレビ電話については、市内でも旧津市、旧久居市、旧河芸町の幹線沿いの一部の施設しか接続できない状況が分かったこと、また、テレビ電話等の配備が行えた施設において相談業務に利用する担当者、保育士、教諭などの操作、利用説明に時間を要し、今後、研修機会を十分な時間をかけて行わないと、相談等に利用できない状況が推測できるなど、運用面でのサポートが重要であることを認識しました。

機器の配置が完了次第、運用を開始し、相談業務への利用策について検証を早期に行う必要があります。



3つのシステムの全体概念図

## II 運営推進組織等（実施体制）

大学等の高等教育機関、医療機関等、情報通信関係団体等で構成する「子育て支援システム運営推進協議会」（以下「推進協議会」という。）を平成19年7月26日に設置し、その後、子育て支援団体、民間企業等の参加を呼びかけ、平成20年3月末時点で19の団体が参画しています。

また、本市の事務局体制として、政策課、情報企画課、こども家庭課、中央保健センター、教育研究支援課、図書館等の関係課がプロジェクトチームを組織して、事業の推進に当たりました。

### ■事業成果

協議会設置に先立ち、事業企画書を本市が提出し国において承認を受け、システムの骨格や調達機器等の基本枠を決定した中で、協議会を設置したため、システム構築優先の協議会運営にならざるを得ませんでした。

開発システムの試用の検討、開発等が遅れたことにより、平成20年1月ようやく情報システム運用部会を開催しましたが、コンテンツ等の根本的な内容等については既に決定しており、部会では検討できない状況にあったことなど、協議会等の運営面での課題が指摘されました。

また、事務局の問題として、各課が連携したプロジェクトチーム体制でありながら、説明責任、執行責任等の所在が曖昧な状況であったことが、事業推進の遅れの一因となりました。

さらに、委託業務終了後、協議会を母体とした民間組織でシステム運営を行っていくためには、多くの子育て支援団体、民間企業等に参加が必要であり、協議会・部会の運営方法の見直し、協議会構成団体への業務委託等の可能性の検討など課題が、明確になりました。

これらの点から、協議会・部会及び事務局体制を抜本的に見直し、システム運営に責任を持って、実行できる組織へ変革することが急務です。

（協議会での検討状況）

- ①平成19年7月26日 第1回子育て支援システム運営推進協議会開催
  - 協議会の発足
  - 協議会会則の決定

	<p>委員長、副委員長の選出 事業の方向付けについての議論</p> <p>②平成19年10月4日 第2回子育て支援システム運営推進協議会開催 リサーチ結果報告 津市の他事業との関連および連携報告 支援企業、組織、グループ募集結果報告 下部組織（部会）の決定 役割分担、作業計画立案</p> <p>③平成19年10月18日 部会開催 第1回企画戦略部会 開発機能についての意見調整</p> <p>④平成19年10月31日 部会開催 第2回企画戦略部会 開発仕様書案作成</p> <p>⑤平成19年11月2日 第3回子育て支援システム運営推進協議会開催 センター機器仕様の決定 開発仕様の決定</p> <p>⑥平成19年12月21日 第4回子育て支援システム運営推進協議会開催 調達関係の進捗状況の報告 中間報告案の承認</p> <p>⑦平成20年1月25日 部会開催 第1回合同部会 平成19年度のシステム開発機能についての決定 平成20年度のシステム運営についての意見調整</p> <p>⑧平成20年2月15日 部会開催 第2回コミュニティ部会 平成20年度のホームページ等のシステム運営体制・開発機能についての意見調整</p> <p>⑨平成20年2月18日 部会開催 第2回コミュニケーション部会 平成19年度のテレビ会議・テレビ電話システムの開発機能、平成20年度の運用についての意見調整</p> <p>⑩平成20年2月25日 第5回子育て支援システム運営推進協議会 部会開催 第2回合同部会 平成19年度の協議会運営、開発機能についての点検 平成20年度の協議会運営、開発機能についての意見調整</p> <p>⑪平成20年3月19日 部会開催 第3回合同部会 平成19年度の業務報告案の確認 平成20年度の事業計画案の意見調整</p> <p>⑫平成20年3月19日 第6回子育て支援システム運営推進協議会 平成19年度の業務報告案の承認 平成20年度の事業計画案の承認</p> <p>（業務を遂行する上での留意点） 子育て支援システム運営推進協議会の運営において、より多くの地域の子育て支援団体、民間企業等の参画を得て、協議会運営を図るスタイルに移行していくことが、長期的にシステムの運営主体を地域にシフトしていくことが必要である。</p>				
<p>目標の達成状況</p> <p>（事業計画書に定められた目標の達成状況）</p>	<p>指 標</p> <p>①子育て支援登録者数（団体、関係機関を含む）</p> <p>②コミュニティ数</p> <p>③団体間の協働取組み件数</p>	<p>目標値</p> <p>200</p> <p>10</p> <p>5</p>	<p>結果の数値</p> <p>26</p> <p>2</p> <p>0</p>	<p>達成状況</p> <p>△</p> <p>△</p> <p>×</p>	<p>計測方法・出典等</p> <p>ポータルサイトのリンク団体、ブログ開設団体数</p> <p>SNS開設コミュニティ数</p> <p>ホームページ、テレビ会議、テレビ電話の各システムと連動したアンケート調査</p>

④e-本みつけた (仮称) 利用者数	100	62	○	SNS登録者数
⑤市内小中学校 (小学校 59 校・ 中学校 22 校) 図 書館の図書の貸 出冊数	310,000	349,897	○	市内小中学校図書館の図 書貸し出し冊数(毎年度 翌年 9 月公表のため結果 数値は平成 18 年度値)
達成できなかった理由(△又は×の場合)				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ①②③④の未達成の理由については、システム開発の手続き、協議に時間を要し、システムの開発、運用(一般公開 3 月 14 日)が遅れたためであります。 システム開設の広報・PR の不十分である点もあわせて、目標値に登録数が達成していません。 このほか、個別の理由としては以下のとおりです。</li> <li>・ ①については、結果数値は、既存 SNS 「みえじん」の子育て支援コミュニティ「こそだて」の登録数です。 本システムでは、SNS 連携サーバーの開発を行い、「みえじん」の子育てに関するコミュニティと連携させる計画で、本年度、連携サーバーの開発は行いましたが、連携方策の検討を行う段階までしか至らず、実際の連携が図れませんでした。 本事業の実施に伴い、「みえじん」への登録、さらに「みえじん」の中のコミュニティ「こそだて」への参加を協議会で呼びかけ、招待、登録をいただいておりますが、現段階では、本事業による「みえじん」への登録者数が把握できない、コミュニティ「こそだて」の参加者数としています。 このほか、ブログの登録者数は、登録(書き込み)の権限等を協議会委員等のうち、情報の提供等を担える委員・団体に権限を持っていただき、一定の管理ルールのもと、情報の提供を行う予定ですが、本年度内に、協議会で具体的な管理ルールを検討する段階に至らなかったために、団体等の登録をカウントすることができませんでした。</li> <li>・ ②については、本事業により「みえじん」へ開設した子育てに関するコミュニティサイト数、及び本システムの SNS 「本の玉手箱」のコミュニティサイト数の合計値です。 現時点では、「本の玉手箱」に 2 つのコミュニティサイトが開設されています。 SNS の登録招待状等の送付など、協議会関係者から提供をし、支援者側の登録・コミュニティの開設を呼びかけていますが、開設準備期間が短い(SNS サイト開設が遅かった)こと、SNS を利用した経験がない(少ない)人が多く、登録をしても、コミュニティ立ち上げには至っていないことが理由として考えられます。</li> <li>・ ③については、本システムの利用を通じて、地域の中で子育て支援者交流会の開催、母子保健推進員の自主活動への他団体の参加、民間企業と子育て応援団体とのコラボレーション事業の開催など第 2 次効果として、実施される数値です。 ホームページの一般公開から期間が短く、SNS のコミュニティの開設が進んでいない現段階では、新たなコラボレーション事業は企画に至っておりません。</li> <li>・ ④については、本システムの SNS 「本の玉手箱」のコミュニティサイトへの登録者数です。 登録が進まない理由としては、事業全体の周知が SNS の登録招待状等の送付など、協議会関係者から提供をしていますが、SNS 公開から期間が短いこと、また、SNS を利用した経験がない(少ない)人が多いことなどが、考えられます。</li> </ul>				

注) 成果の達成状況欄には○(達成)、△(一部達成)、×(全く達成されていない)を記入すること。

注) 合計3枚まで。



## <委託業務説明書> (モデル運用結果、得られた成果)

### 1 平成19年度事業実施において明らかとなった課題

※他自治体の参考となるような論点・課題 (解決できた場合はその解決方策)。

※事業実施概要 (P1～5) で記載した課題を再掲しています。

(1) システムの開発・運営推進組織が、主体的かつ活発に活動できる運営スタイルへ

#### 【協議会運営上の課題】

協議会は、本システムを構築するに当たって、部会構成の検討、開発機能の検討、開発仕様の決定、センター機器仕様の決定等を行っています。

しかし、協議会設置に先立ち、事業企画書を本市が提出し、国において承認を受け、システムの骨格や調達機器等の基本枠を決定した中で、協議会で検討を行っていることから、協議会で新たな開発機能の提案などは行えず、企画書に掲げたシステム構築方法を検討する協議会運営にならざるを得ませんでした。

協議会及び部会への参画団体、企業を募集の際には、参画するメリットを明確に示せず、予定していた団体の参画が得られませんでした。また、協議会及び企画戦略部会でのシステム機能の検討機会においても、システムの概要について、活発な議論が行える場になっていませんでした。

また、協議会において、開発システム等の検討が遅れたことにより、平成20年1月によりやく情報システム運用部会を開催しましたが、コンテンツ等の根本的な内容等については既に決定しており検討できない状況にあったことなど、協議会運営面での課題が指摘されました。

一方、協議会の運営を支える事務局の問題として、各課が連携したプロジェクトチーム体制でありながら、説明責任、執行責任等の所在が曖昧な状況であったことが、事業推進の遅れの要因の一つでもあります。

これらの点から、システムを構築するための協議会・部会から、システムを運営する組織体へ変えていくために、協議会・部会へのオープンな参加と情報の公開を保障し、実際の運営を行う組織とそれを承認する協議会、適正な契約事務等の執行を監視する第三者機関の設置検討など、協議会・部会及び事務局体制を抜本的に見直し、平成20年度4～6月の期間において、システム運営に責任を持って、実行できる組織へ変革するよう、運営組織の見直しを図ることとしました。

#### 【制度上の課題】

地域協議会への民間企業の参画については、当該協議会が、システム構築・運用の方針を検討する場となるため、協議会へ参画すると、情報システム機器の調達等の際に、入札への参加ができなくなります。

このことから、平成19年8月以降、民間企業の協議会への参画について、参画予定企業への打診を行いました。「社会貢献の取り組みとしてボランティアで参画する」という企業よりも、「機器等の調達、システム開発を受託する事業者としてエントリーする可能性があるので参画を見合わせる」、または「当面、事業の進展状況をながめる」と判断する企業が多かったです。

また、地域の子育て情報誌編集社、女性の人材派遣・イベント企画等を行っている事業所など子育て支援を事業領域とする民間企業は、コンテンツづくり、地域に根付いた情報量等にノウハウを持っていますが、情報システムは構築することは困難です。

このことから、本システム構築に関わるには、「協議会に参画し無償でノウハウの提供を行う」、または、「システム開発が出来る大手企業とコンソーシアム形式で、機器等の調達、システム開発を受託する事業者としてエントリーする」こととなります。

しかし、事実上、どちらの選択も不可能であり、本システムのコンテンツ構築に有益なノウハウを提供し、協力を期待する企業については、事業趣旨には賛同を得ましたが、参画機会を閉ざしてしまうこととなりました。

これらのことから、協議会への民間企業の参画については、協働運営主体として、一定のルールのもとで協議会の中で、参画企業・団体への随意契約等が行えるようにしないと、多くの参画は得られない状況にあるので、この点に関しては、制度上クリアできる方法を検討する必要があります。

以上の課題は、ICT を利活用するためには、その利活用の主体となる運営推進組織 (協議会) が機

能して、活発に活動できることであるため、システムの課題に先立っての第1の課題としました。  
(2) 各システムについて

### ① 子育て支援システム（準拠情報システム）

#### ア 運営ルールの先行検討（ホームページの一般公開に先立って）

お知らせコーナー、イベント広場、ブログシステム等の情報登録を、協議会委員等のうち、情報の提供等を担える委員・団体に権限を持つ一定の管理ルールの検討を、一般公開の前に協議・決定しておくことが必要です。

本システムの場合、システム開発等が遅れている中で、平成19年度内に運用を行うために、十分なリスクマネジメントの検討を行わず公開を行い、改良を行っていきこうとして運用を開始していることから、ホームページを一般公開してからも、情報の登録ができない状態が続いており、早期対応を図ります。

#### イ VODなど特殊コンテンツは更新作業の容易なシステムに

つよいつこTVコーナー（動画コンテンツを、インターネットを介してストリーミング配信するVODシステム）、いっしょにおべんきょうコーナー（インタラクティブ性のある紙芝居。Java等を利用）等は、定期的にコンテンツの内容を更新していくために、特殊技術が不要で、一定のスキルがあれば更新できる必要があります。

本システムでは、システムの運用体制が十分に確立していない状況にあるため、システムの更新操作性の検証、及び運営組織内での操作研修の十分な実施などが課題です。

#### ウ SNS連携システムによる連携方法の検討

本システムのSNS「本の玉手箱」の情報を既存地域SNS（OpenPNEにより構築。「みえじん <http://SNS.miezone.net/home/>」）に登録した子育てサークル参加者にも情報転送、公開し、また、逆に、特定利用者から、この地域SNSに子育てイベント情報の紹介コンテンツを転送、公開する双方向サービスが提供できるシステムとするため、SNS連携サーバーの開発を行い、既存の地域SNS事業者と連携方策の検討を行っています。しかし、セキュリティや個人情報の保護の問題から、スムーズな立ち上げには至らず、平成20年3月末時点では、既存SNS「みえじん」の中の子育て関連コミュニティと「本の玉手箱」との連携ができていません。

今後、SNS連携について、既存SNSサイドとの十分な協議を行い、早期連携を行う必要があります。

### ② テレビ会議システム

テレビ会議システムは、モニターを見て受講する子育て教室のイメージが浸透しておらず、モニターで受講する会場については多数の参加につながらなかったことから、周知方法に課題を残しています。

また、「ホワイトボードの文字等が肉眼よりも画面を通すと見えにくい。」「音声に反応して画面が切り替わるタイミングにズレがある。」など、技術的な問題を補う運用面での工夫も課題であることが確認できました。

平成19年度の運用では、保健センターの子育て教室等に限られているため、子育て支援団体の会合や交流事業などの利用についても検証し、利用拡大策を検討していく必要があります。

### 3 テレビ電話システム

3月24日時点において、平成19年度に配備を予定した施設への配備及び設定が整っていないため、相談業務等での試験運用が図られていない状況です。

しかし、機器の接続工事において、光回線を使ったテレビ電話については、市内でも旧津市、旧久

居市、旧河芸町の幹線沿いの一部の施設しか接続できない状況が分かったことから、光回線を補うインターネット電話（skype を利用）の操作性向上等可能性の検証が必要です。

また、テレビ電話等の配備が行えた施設において相談業務に利用する担当者、保育士、教諭などの操作、利用説明に時間を要するなど、今後、研修機会を十分な時間をかけて行わないと、相談等に利用できない状況が推測できるなど、運用面でのきめ細かいサポートが課題です。

## 2 自立的・継続的運営の見込み

- ① モデル事業（委託事業）期間終了後、本システムの運営は、子育て支援システム運営推進協議会を基とした民間組織で運営することとなっています。

しかし、現時点では、参画団体等に会費、利用料等の負担が発生する点、その点を踏まえて、運営推進組織づくり、コンテンツ改良などの検討を行っていくことの共有が、協議会・部会において、十分に出来ていません。

このことから、課題として「1 (I) システムの開発・運営推進組織が、主体的かつ活発に活動できる運営スタイルへ」に掲げたように、協議会・部会へのオープンな参加と情報の公開を保障し、実際の運営を行う組織とそれを承認する委員会、適正な契約事務等の執行を監視する第三者機関の設置検討など、協議会・部会及び事務局体制を抜本的に見直し、平成 20 年度 4～6 月の期間において、システム運営に責任を持って、実行できる組織へ変革するよう、運営組織の見直しを図り、自立的・継続的な運営を図ります。

- ② システムの運営を行なうためには、必要経費の安定した収入を確保することが不可欠であることから、企画書において、本協議会に参加する団体、機関、企業からの負担金・利用料収入をその一部に当てることを予定しています。

①に加え、自立的・継続的運営には、社会貢献事業としての参画メリットだけでなく、各参画企業・団体への具体的なメリット（利益）を創出するための、コンテンツの改良、システムの運用方法を検討する必要があり、参画のインセンティブとなる会員の利益確保策を協議会で検討していきます。

## 3 今後の展開方針

上記 1 及び 2 に掲げる「協議会・部会運営」の見直しを行い、平成 20 年度 4 月～6 月期において、運営推進体制の改革を図ります。

また、システムについては、平成 19 年度の課題の対処を図るとともに、平成 19 年度に構築した子育て支援システムについて、稼働を継続し、結果を地域課題の解決方策に反映させていきます。

さらに、システムについては、ホームページ等と携帯電話端末との連携、アンケートシステムや SNS を使った子育て支援コミュニティサイトの開設、テレビ会議システムをつかった市民団体等の交流会の開催やテレビ電話を使った相談機会の充実を図るなど、協議会等における意見を踏まえて、システムの操作性の向上、機能のブラッシュアップなどを、可能な限りシステムに反映させていきます。

注) 必要な場合には補足説明図 (A4 判) 等を添付すること。

## <システム設計書>

### 1 概要

#### (システム構築の背景と目的)

津市（以下「本市」という。）では、地域 ICT 利活用モデル構築事業（総務省）の委託を受け、ICT を利活用した子育て支援モデルを構築することとしています。

この ICT を利活用した子育て支援モデルの構築に際しては、利活用する情報通信技術やインフラが特定のものに偏らないよう地域情報プラットフォームに準拠した情報システム（以下「準拠情報システム」という。）を開発することが必要となっています。

本業務においては、「平成 19 年度地域 ICT 利活用モデル構築事業 事業企画書」に基づき、準拠情報システムの開発、導入並びにコンテンツ等の作成を行うことを目的とします。

#### (システム構築体制)

別添「津市地域 ICT 利活用モデル構築事業に係る準拠情報システム開発等業務プロジェクト プロジェクト計画書」及び「津市地域 ICT 利活用モデル構築事業に係るテレビ会議システム構築体制」のとおり。

### 2 運用結果

地域情報プラットフォームに準拠したシステムを構築し、3月14日からポータルサイト「子育てネット 元気っ津」を運用開始しました。また、テレビ会議システムは、3月6日に安濃保健センターで開催された教室を他の9拠点に同時配信したほか、保健センターの定期的な担当者会議を、同システムを用いて開催しました。

テレビ電話は、3月21日に機器貸貸業者を選定し、3月末までに市内の公立幼稚園、保育園、小児科医、NPO 等子育て支援拠点の計38拠点に設置見込みです。

### 3 課題・改修の必要性

子育てを行う家庭の保護者が安心して子どもを育てられるよう、情報取得のための操作性の向上、コミュニケーションの活発化のためのコンテンツの改良などの必要があります。

### 4 その他

※該当する場合に記入

#### (1) 活用したネットワーク種別・伝送速度

・市イントラネット	100Mbps
・情報通信キャリア広域イーサネット	100Mbps（ベストエフォート）
・光インターネット	100Mbps（ベストエフォート）
・ADSLインターネット	47Mbps（ベストエフォート）
・CATVインターネット	30Mbps（ベストエフォート）

#### (2) 関連する既存の情報通信システムとの連携状況

- ・テレビ会議システムの構築にあたり、既設の市イントラネットのブロードバンド環境を利用した。
- ・社団法人三重県情報通信基盤整備協会が運営する地域 SNS との連携に向けた実証実験を行うため、SNS 連携サーバを構築した。

#### (3) 地域情報プラットフォームへの準拠の有無

ポータルサイト及び SNS サイトの構築にあたっては、XOOPS や OpenPNE 等の OSS 及び XML を用いて、地域情報プラットフォームに準拠してシステムを構築した。

### 5 システムの詳細

※ネットワークイメージ図、システム構成図（ハード・ソフト）、システム運用図、データ定義書、ソフト要件定義書、データベース設計書等の添付必須（添付のみでも可）

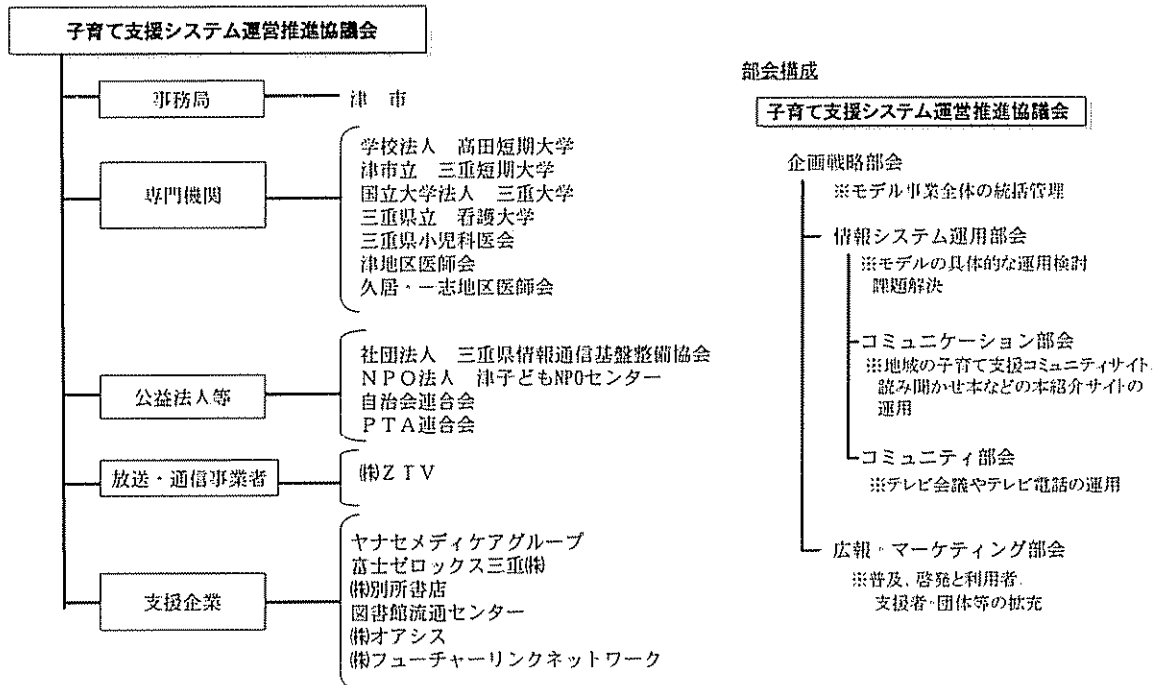
別紙及び添付資料のとおり

注) システム関係の添付印刷物は1部のみ提出。必要な場合には補足説明図（A4判）等を添付すること。

# ＜実施体制説明書＞

## 1 実施体制

### ○組織体制



## 2 各主体の役割

NO	名 称	役 割
1	津市	事務局 テレビ会議システム運営主体 e-本みつけた運営主体 子育て支援拠点ネットワークセンター（仮称）運営主体
2	学校法人 高田短期大学	協議会委員長／企画戦略部会員 コミュニケーション部会員 システム開発・運営への助言・協力者 保育等子育て支援専門機関
3	津市立 三重短期大学	協議会委員／広報・マーケティング部会員 食育等子育て支援専門機関
4	国立大学法人 三重大学	協議会副委員長／企画戦略部会員 システム開発・運営への助言・協力者
5	三重県立 看護大学	協議会委員／コミュニケーション部会員 母子保健等子育て支援専門機関

6	三重県小児科医会	協議会副委員長／企画戦略部会員・コミュニケーション部会員 子育て相談、緊急応急など専門機関
7	津地区医師会	(6 と兼任)
8	久居・一志地区医師会	コミュニケーション部会員 子育て相談、緊急応急など専門機関
9	社団法人 三重県情報通信基盤整備協会	協議会委員／企画戦略部会員 地域SNS (mie-SNS) 運営への助言・協力員
10	自治会連合会	協議会委員／企画戦略部会員 地域の子育て支援協力者発掘
11	P T A 連合会	協議会委員／広報・マーケティング部会員 子育て家庭への連絡・普及促進
12	(株)Z T V	コミュニケーション部会員 C A T V 利活用への助言・協力者
13	N P O 法人 津子ども N P O センター	コミュニティ部会員 子育て支援活動者のネットワーク形成に対する手法等への助言・協力者
14	ヤナセメディケアグループ	コミュニティ部会員 マタニティサークルを通じたニーズ等をシステム内容等への助言・協力者
15	富士ゼロックス三重(株)	コミュニティ部会員 システム開発・運営への助言・協力者
16	(株)別所書店	コミュニティ部会員 本の紹介サイトSNSへの情報提供・協力者
17	図書館流通センター	コミュニティ部会員 本の紹介サイトSNSへの情報提供・協力者
18	(株)オアシス	コミュニティ部会員 コミュニティサイトのコンテンツ開発への助言・協力者
19	(株)フューチャーリンクネットワーク	コミュニケーション部会員 コミュニティサイトのコンテンツ開発への助言・協力者

注) 必要な場合には補足説明図 (A4 判) 等を添付すること。

注) 協議会の開催要項・議事要旨を添付。

## 事業実施進行表

実施内容	H19 6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H20 1月	2月	3月
Ⅰ 子育て支援システム運営推進協議会										
協議会等設立・準備会合		→								
協議会構成員公募			→							
協議会等開催		△			△	△	△		△	△
協議会運営支援コンサルタント業務委託							→			
システム構成の検討・決定							→			
システム構築に係る競争入札							→			
システム設計									→	→
システム稼働環境									→	→
システム稼働										→
報告書作成										→
Ⅱ 子育て支援拠点ネットワークセンター(仮称)運用										
①テレビ電話接続拠点の選定								→	→	
貸出									→	→
運用										→

実施内容	H19 6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H20 1月	2月	3月
②Web, DNS, VOD 等 センター運用機器、 外部拠点・保育園等 配置機器調達業者選定、 契約								△		
機器納入（IDC 契約） IDC外部拠点 高田短期大学 保育園等									→	
システム開発 業者選定、契約									△	
システム開発								→	→	
システム運用 環境整備								→		
システム運用										→
コンテンツ開発				→	→	→	→	→	→	→
③地域SNS参加 者登録									→	→
Ⅲ テレビ会議システム運用										
機器調達 業者選定、契約								△		
機器納入									→	
設置工事（保健セ ンター）									△	
システム運用										→
講座等開催（随時）										→



実施内容	H19 6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H20 1月	2月	3月
IV e-本みつけた（仮称）システム運用										
機器調達 業者選定、契約								△		
システム開発 業者選定、契約								△		
システム開発								→		
子どもポータルサイト 登録者応募									-----→	
システム運用										→
絵本、文庫本等紹介 （随時）										→